

# ICT教育活用研究所



所長 鈴木 健一 (工学部 情報通信工学科 教授)

アクティブラーニングや遠隔講義などを充実させるには情報通信技術が欠かせません。しかし、技術だけが全面に出てしまい、せっかくのシステムやソフトウェアがうまく生かされないということも起こりがちです。本研究所では、新しい教育を創造できる技術の開発や、使いやすい教材やドキュメントの整備など、ソフト/ハード両面から現場のニーズに適合したシステムや教材を提供していきたいと考えています。

## 研究キーワード

●ICT ●情報通信技術 ●教育 ●アクティブラーニング ●教材開発

## 研究内容

本研究所では、情報通信技術を活用しながら、おもに下記の研究活動を行ないます。

### ●アクティブラーニングや多様な学力を持った学生に対応する教材の開発

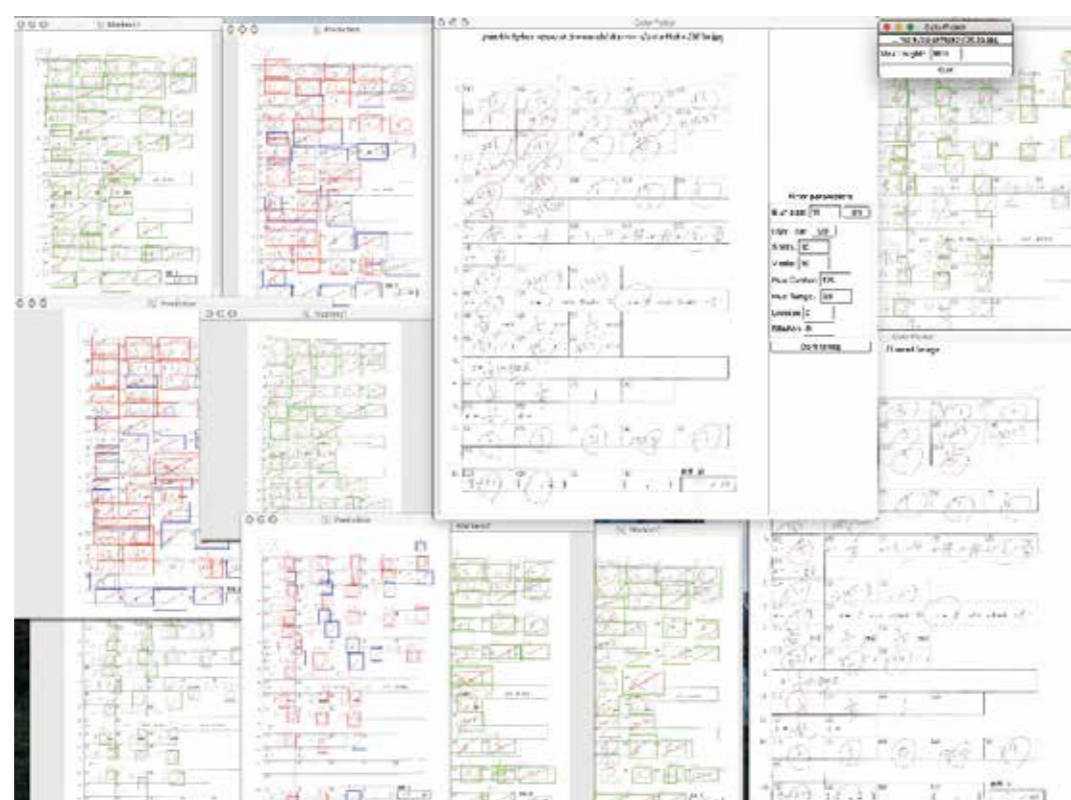
学生実験などの演習科目では、たんに目の前の課題をこなすだけでなく、これまでに学んだことを生かしていく能力を伸ばしていくことが求められます。マスプロ的な教育ではなく、学生の個性や学力の多様性に対応していくために、各学生に合わせた課題や適切なアドバイスなどを提示できる教材を開発し、学生の学びを支援していきます。

### ●情報通信技術の活用による教育の効率改善

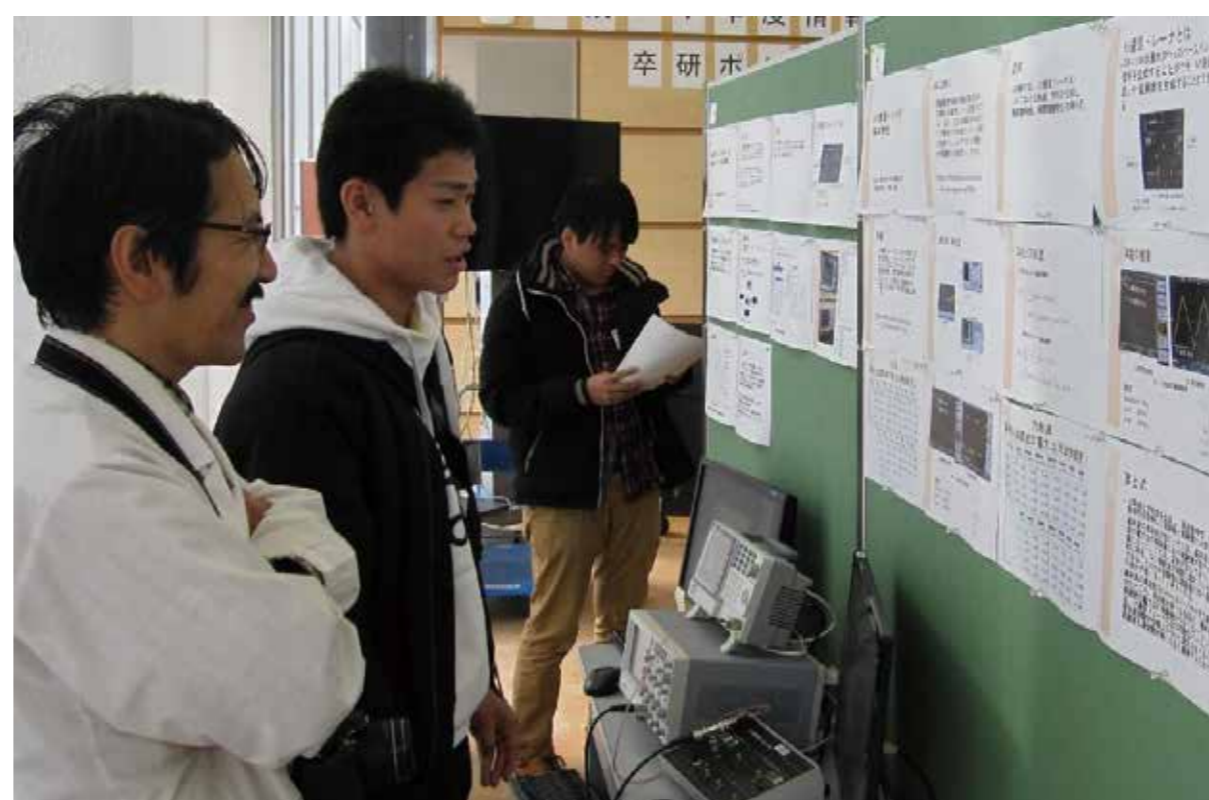
東北工業大学では、複数の学修支援システムを併用して、学生の学びの効率化を行なっています。これをさらに推し進めて、限られた教職員のリソースを有効に活用しつつ、学修効果を高められるよう、情報通信技術を活用していきます。

### ●学修効果検証のための評価方法と学力分析に関する研究

授業後のアンケートなど学生からのフィードバックと学生の成長の関連について、情報通信技術を利用してしながら、深く掘り下げて評価し、事後の教育改善に生かしていく取り組みを行なっていきます。



試験の採点処理自動化アプリケーション



学生実験の機材を使った研究発表

# 情報通信技術を使った教育改善

